

単元名 季節の言葉4

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。
 (2) 経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。
 (3) 語彙を豊かにし、行事の楽しさを伝えるかるたを作ろうとする。

標準的な展開例

04010216_001

【教材名】冬の楽しみ (下 P. 80～P. 81)

【準備等】国語辞典，百科事典，俳句集，俳句歳時記，かるたの用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 挿絵や写真を見たり，俳句を読んだりして，冬の行事や様子を表す言葉を考える。 ★冬の行事を表す言葉を考えよう。 ○絵を見て，自分の知っている言葉と知らない言葉に分ける。</p> <p>○自分の地域に伝わる行事を表す言葉を，考えたり調べたりする。</p> <p>2 自分の住む地域の冬の行事の楽しさを知らせるかるたを作る。 ★冬の行事に関する言葉を入れたかるたを作ろう。 ○集めた言葉を使ってかるたを作る。</p> <p>○完成したかるたで遊ぶ。</p>	<p>・分からない言葉は，国語辞典，百科事典，俳句集，俳句歳時記を使って調べるとよい。 【評】言葉を見付ける活動を通して，「主体的に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・家族や地域の人に聞くようにするのもよい。</p> <p>・読み札と書き札の書き方を確認する。 【評】冬の様子を表す言葉を入れたかるたを作る活動を通して，「知識・技能」，「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・読み札の表現で工夫しているところを褒め合う。</p>

【 備 考 】